



ファイルセキュリティと監査ポリシーに関する 情報を表示します ONTAP 9

NetApp
September 12, 2024

目次

ファイルセキュリティと監査ポリシーに関する情報を表示します	1
ファイルセキュリティと監査ポリシーの概要に関する情報を表示します	1
NTFS セキュリティ形式のボリュームのファイルセキュリティに関する情報を表示します	2
mixed セキュリティ形式のボリューム上のファイルセキュリティに関する情報を表示します	8
UNIX セキュリティ形式のボリューム上のファイルセキュリティに関する情報を表示します	12
CLI を使用して、FlexVol の NTFS 監査ポリシーに関する情報を表示する	14
CLI を使用して、FlexVol の NFSv4 監査ポリシーに関する情報を表示する	17
ファイルセキュリティと監査ポリシーに関する情報を表示する方法	18

ファイルセキュリティと監査ポリシーに関する情報を表示します

ファイルセキュリティと監査ポリシーの概要に関する情報を表示します

Storage Virtual Machine（SVM）上のボリュームに格納されたファイルとディレクトリのファイルセキュリティに関する情報を表示できます。FlexVol の監査ポリシーに関する情報を表示できます。設定されている場合、FlexVol ボリュームのストレージレベルのアクセス保護およびダイナミックアクセス制御セキュリティの設定に関する情報を表示できます。

ファイルセキュリティに関する情報を表示する

次のセキュリティ形式のボリュームと（FlexVol の）qtree に格納されたデータに適用されているファイルセキュリティに関する情報を表示できます。

- NTFS
- 「UNIX」
- 混在

監査ポリシーに関する情報を表示する

次の NAS プロトコルを介した FlexVol ボリューム上のアクセスイベントを監査する監査ポリシーに関する情報を表示できます。

- SMB（すべてのバージョン）
- NFSv4.x に対応している

Storage-Level Access Guard（**SLAG**；ストレージレベルのアクセス保護）セキュリティに関する情報を表示する

ストレージレベルのアクセス保護セキュリティは、次のセキュリティ形式の FlexVol および qtree オブジェクトに適用できます。

- NTFS
- 混在
- UNIX（ボリュームが含まれる SVM で CIFS サーバが設定されている場合）

ダイナミックアクセス制御（**DAC**）セキュリティに関する情報を表示する

ダイナミックアクセス制御セキュリティは、次のセキュリティ形式の FlexVol ボリューム内のオブジェクトに適用できます。

- NTFS

- Mixed（オブジェクトに NTFS 対応のセキュリティが設定されている場合）

関連情報

[ストレージレベルのアクセス保護を使用したファイルアクセスの保護](#)

[ストレージレベルのアクセス保護に関する情報の表示](#)

NTFS セキュリティ形式のボリュームのファイルセキュリティに関する情報を表示します

セキュリティ形式と有効なセキュリティ形式、適用されている権限、DOS 属性に関する情報など、NTFS セキュリティ形式のボリューム上にあるファイルやディレクトリのセキュリティに関する情報を表示できます。この結果を使用して、セキュリティ設定の検証や、ファイルアクセスに関する問題のトラブルシューティングを行うことができます。

このタスクについて

Storage Virtual Machine（SVM）の名前、およびファイルまたはフォルダのセキュリティ情報を表示するデータのパスを入力する必要があります。出力は要約形式または詳細なリストで表示できます。

- NTFS セキュリティ形式のボリュームおよび qtree では、NTFS ファイルアクセス権と Windows のユーザおよびグループのみを使用してファイルアクセス権を決定するため、UNIX 関連の出力フィールドには表示専用の UNIX ファイルアクセス権情報が格納されます。
- ACL 出力は、NTFS セキュリティが適用されたファイルとフォルダについて表示されます。
- ストレージレベルのアクセス保護セキュリティは、ボリュームのルートまたは qtree で設定できるため、ストレージレベルのアクセス保護が設定されているボリュームまたは qtree パスの出力には、通常のファイル ACL とストレージレベルのアクセス保護 ACL の両方が表示されることがあります。
- 指定したファイルまたはディレクトリパスにダイナミックアクセス制御が設定されている場合は、ダイナミックアクセス制御 ACE に関する情報も出力に表示されます。

ステップ

1. ファイルとディレクトリのセキュリティ設定を必要な詳細レベルで表示します。

表示する情報	入力するコマンド
要約形式で表示されます	<code>vserver security file-directory show -vserver vs1 -path path</code>
詳細が表示されます	<code>vserver security file-directory show -vserver vs1 -path path -expand-mask true</code>

例

次の例は、パスに関するセキュリティ情報を表示します /vol1 SVM vs1：

```
cluster::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path /vol4
```

```

        Vserver: vs1
        File Path: /vol4
    File Inode Number: 64
        Security Style: ntfs
        Effective Style: ntfs
        DOS Attributes: 10
    DOS Attributes in Text: ----D---
Expanded Dos Attributes: -
        Unix User Id: 0
        Unix Group Id: 0
        Unix Mode Bits: 777
    Unix Mode Bits in Text: rwxrwxrwx
        ACLs: NTFS Security Descriptor
            Control:0x8004
            Owner:BUILTIN\Administrators
            Group:BUILTIN\Administrators
            DACL - ACEs
            ALLOW-Everyone-0x1f01ff
            ALLOW-Everyone-0x10000000-
```

OI|CI|IO

次の例は、マスクを展開してパスに関するセキュリティ情報を表示します /data/engineering SVM vs1 :

```
cluster::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path -path
/data/engineering -expand-mask true
```

```

        Vserver: vs1
        File Path: /data/engineering
    File Inode Number: 5544
        Security Style: ntfs
        Effective Style: ntfs
        DOS Attributes: 10
    DOS Attributes in Text: ----D---
Expanded Dos Attributes: 0x10
    ...0 .... = Offline
    .... ..0. .... = Sparse
    .... .... 0... .... = Normal
    .... .... ..0. .... = Archive
    .... .... ...1 .... = Directory
    .... .... .... .0.. = System
    .... .... .... ..0. = Hidden
    .... .... .... ...0 = Read Only
```

```

    Unix User Id: 0
    Unix Group Id: 0
    Unix Mode Bits: 777
Unix Mode Bits in Text: rwxrwxrwx
    ACLs: NTFS Security Descriptor
    Control:0x8004

```

```

    1... .. = Self Relative
    .0.. .. = RM Control Valid
    ..0. .. = SACL Protected
    ...0 .. = DACL Protected
    .... 0... .. = SACL Inherited
    .... .0.. .. = DACL Inherited
    .... ..0. .. = SACL Inherit Required
    .... ...0 .. = DACL Inherit Required
    .... .... .0. .... = SACL Defaulted
    .... .... ...0 .... = SACL Present
    .... .... .... 0... = DACL Defaulted
    .... .... .... .1.. = DACL Present
    .... .... .... ..0. = Group Defaulted
    .... .... .... ...0 = Owner Defaulted

```

```

Owner:BUILTIN\Administrators
Group:BUILTIN\Administrators
DACL - ACEs

```

```

    ALLOW-Everyone-0x1f01ff

```

	0... .. =
Generic Read	
	.0.. .. =
Generic Write	
	..0. =
Generic Execute	
	...0 =
Generic All	
0 =
System Security	
 1 =
Synchronize	
 1... =
Write Owner	
1. =
Write DAC	
1. =
Read Control	
1 =
Delete	

1..... =
Write Attributes	
1.... =
Read Attributes	
1... =
Delete Child	
1. =
Execute	
1 =
Write EA	
1... =
Read EA	
1... =
Append	
1. =
Write	
1 =
Read	
	ALLOW-Everyone-0x10000000-OI CI IO
	0.... =
Generic Read	
	.0... =
Generic Write	
	..0. =
Generic Execute	
	...1 =
Generic All	
0 =
System Security	
0 =
Synchronize	
0... =
Write Owner	
0... =
Write DAC	
0. =
Read Control	
0 =
Delete	
0 =
Write Attributes	
0... =
Read Attributes	
0... =
Delete Child	

Execute0..... =
Write EA0..... =
Read EA0..... =
Append0..... =
Write0..... =
Read0..... =

次の例は、パスにあるボリュームの、ストレージレベルのアクセス保護セキュリティ情報を含むセキュリティ情報を表示します /datavol1 SVM vs1 :


```
cluster::> vsriver security file-directory show -vsriver vs1 -path
/datavol1
```

```

    Vserver: vs1
    File Path: /datavol1
    File Inode Number: 77
    Security Style: ntfs
    Effective Style: ntfs
    DOS Attributes: 10
    DOS Attributes in Text: ----D---
    Expanded Dos Attributes: -
        Unix User Id: 0
        Unix Group Id: 0
        Unix Mode Bits: 777
    Unix Mode Bits in Text: rwxrwxrwx
    ACLs: NTFS Security Descriptor
        Control:0x8004
        Owner:BUILTIN\Administrators
        Group:BUILTIN\Administrators
        DACL - ACEs
            ALLOW-Everyone-0x1f01ff
            ALLOW-Everyone-0x10000000-OI|CI|IO

    Storage-Level Access Guard security
    SACL (Applies to Directories):
        AUDIT-EXAMPLE\Domain Users-0x120089-FA
        AUDIT-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff-SA
    DACL (Applies to Directories):
        ALLOW-EXAMPLE\Domain Users-0x120089
        ALLOW-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff
        ALLOW-NT AUTHORITY\SYSTEM-0x1f01ff
    SACL (Applies to Files):
        AUDIT-EXAMPLE\Domain Users-0x120089-FA
        AUDIT-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff-SA
    DACL (Applies to Files):
        ALLOW-EXAMPLE\Domain Users-0x120089
        ALLOW-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff
        ALLOW-NT AUTHORITY\SYSTEM-0x1f01ff
```

関連情報

[mixed セキュリティ形式のボリュームのファイルセキュリティに関する情報を表示する](#)

[UNIX セキュリティ形式のボリュームのファイルセキュリティに関する情報を表示する](#)

mixed セキュリティ形式のボリューム上のファイルセキュリティに関する情報を表示します

セキュリティ形式と有効なセキュリティ形式、適用されている権限、UNIX の所有者とグループに関する情報など、mixed セキュリティ形式のボリューム上にあるファイルやディレクトリのセキュリティに関する情報を表示できます。この結果を使用して、セキュリティ設定の検証や、ファイルアクセスに関する問題のトラブルシューティングを行うことができます。

このタスクについて

Storage Virtual Machine（SVM）の名前、およびファイルまたはフォルダのセキュリティ情報を表示するデータのパスを入力する必要があります。出力は要約形式または詳細なリストで表示できます。

- mixed セキュリティ形式のボリュームおよび qtree には、UNIX ファイル権限、モードビットまたは NFSv4 ACL、および NTFS ファイル権限を使用する一部のファイルおよびディレクトリを含めることができます。
- mixed セキュリティ形式のボリュームの最上位には、UNIX 対応のセキュリティまたは NTFS 対応のセキュリティを設定できます。
- ACL 出力は、NTFS または NFSv4 セキュリティが適用されたファイルとフォルダについてのみ表示されます。

このフィールドは、モードビットのアクセス権のみ（NFSv4 ACL はなし）が適用されている UNIX セキュリティ形式のファイルおよびディレクトリでは空になります。

- ACL 出力の所有者とグループの出力フィールドは、NTFS セキュリティ記述子の場合にのみ適用されます。
- ストレージレベルのアクセス保護セキュリティは、ボリュームのルートまたは qtree の有効なセキュリティ形式が UNIX であっても、mixed セキュリティ形式のボリュームまたは qtree で設定できるため、ストレージレベルのアクセス保護が設定されているボリュームまたは qtree パスの出力には、UNIX ファイル権限とストレージレベルのアクセス保護 ACL の両方が表示されることがあります。
- コマンドで入力したパスが、NTFS 対応のセキュリティを使用するデータへのパスである場合、そのファイルまたはディレクトリパスにダイナミックアクセス制御が設定されていれば、ダイナミックアクセス制御 ACE に関する情報も出力に表示されます。

ステップ

1. ファイルとディレクトリのセキュリティ設定を必要な詳細レベルで表示します。

表示する情報	入力するコマンド
要約形式で表示されます	<code>vserver security file-directory show -vserver vserver_name -path path</code>
詳細が表示されます	<code>vserver security file-directory show -vserver vserver_name -path path -expand-mask true</code>

例

次の例は、パスに関するセキュリティ情報を表示します /projects マスクを展開した形式でSVM vs1に格納します。この mixed セキュリティ形式のパスには、UNIX 対応のセキュリティが設定されています。

```
cluster1:> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path  
/projects -expand-mask true
```

```
      Vserver: vs1  
      File Path: /projects  
      File Inode Number: 78  
      Security Style: mixed  
      Effective Style: unix  
      DOS Attributes: 10  
      DOS Attributes in Text: ----D---  
      Expanded Dos Attributes: 0x10  
      ...0 .... = Offline  
      .... ..0. .... = Sparse  
      .... .... 0... .... = Normal  
      .... .... ..0. .... = Archive  
      .... .... ...1 .... = Directory  
      .... .... .... .0.. = System  
      .... .... .... ..0. = Hidden  
      .... .... .... ...0 = Read Only  
      Unix User Id: 0  
      Unix Group Id: 1  
      Unix Mode Bits: 700  
      Unix Mode Bits in Text: rwx-----  
      ACLs: -
```

次の例は、パスに関するセキュリティ情報を表示します /data (SVM vs1)。この mixed セキュリティ形式のパスには、NTFS 対応のセキュリティが設定されています。

```
cluster1::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path /data
```

```

        Vserver: vs1
        File Path: /data
    File Inode Number: 544
        Security Style: mixed
        Effective Style: ntfs
        DOS Attributes: 10
    DOS Attributes in Text: ----D---
Expanded Dos Attributes: -
        Unix User Id: 0
        Unix Group Id: 0
        Unix Mode Bits: 777
    Unix Mode Bits in Text: rwxrwxrwx
        ACLs: NTFS Security Descriptor
            Control:0x8004
            Owner:BUILTIN\Administrators
            Group:BUILTIN\Administrators
            DACL - ACEs
                ALLOW-Everyone-0x1f01ff
                ALLOW-Everyone-0x10000000-
```

OI|CI|IO

次の例は、パスにあるボリュームに関するセキュリティ情報を表示します /datavol5 (SVM vs1)。この mixed セキュリティ形式のボリュームの最上位には、UNIX 対応のセキュリティが設定されています。ボリュームにはストレージレベルのアクセス保護セキュリティが設定されています。

```
cluster1::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path /datavol5
```

```
      Vserver: vs1
      File Path: /datavol5
File Inode Number: 3374
      Security Style: mixed
      Effective Style: unix
      DOS Attributes: 10
DOS Attributes in Text: ----D---
Expanded Dos Attributes: -
      Unix User Id: 0
      Unix Group Id: 0
      Unix Mode Bits: 755
Unix Mode Bits in Text: rwxr-xr-x
      ACLs: Storage-Level Access Guard security
      SACL (Applies to Directories):
        AUDIT-EXAMPLE\Domain Users-0x120089-FA
        AUDIT-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff-SA
        AUDIT-EXAMPLE\market-0x1f01ff-SA
      DACL (Applies to Directories):
        ALLOW-BUILTIN\Administrators-0x1f01ff
        ALLOW-CREATOR OWNER-0x1f01ff
        ALLOW-EXAMPLE\Domain Users-0x120089
        ALLOW-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff
        ALLOW-EXAMPLE\market-0x1f01ff
      SACL (Applies to Files):
        AUDIT-EXAMPLE\Domain Users-0x120089-FA
        AUDIT-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff-SA
        AUDIT-EXAMPLE\market-0x1f01ff-SA
      DACL (Applies to Files):
        ALLOW-BUILTIN\Administrators-0x1f01ff
        ALLOW-CREATOR OWNER-0x1f01ff
        ALLOW-EXAMPLE\Domain Users-0x120089
        ALLOW-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff
        ALLOW-EXAMPLE\market-0x1f01ff
```

関連情報

[NTFSセキュリティ形式のボリュームのファイルセキュリティに関する情報の表示](#)

[UNIX セキュリティ形式のボリュームのファイルセキュリティに関する情報を表示する](#)

UNIX セキュリティ形式のボリューム上のファイルセキュリティに関する情報を表示します

セキュリティ形式と有効なセキュリティ形式、適用されている権限、UNIX の所有者とグループに関する情報など、UNIX セキュリティ形式のボリューム上にあるファイルやディレクトリのセキュリティに関する情報を表示できます。この結果を使用して、セキュリティ設定の検証や、ファイルアクセスに関する問題のトラブルシューティングを行うことができます。

このタスクについて

Storage Virtual Machine（SVM）の名前、およびファイルまたはディレクトリのセキュリティ情報を表示するデータのパスを入力する必要があります。出力は要約形式または詳細なリストで表示できます。

- UNIX セキュリティ形式のボリュームおよび qtree では、ファイルアクセス権の決定時に、UNIX ファイルアクセス権のみが使用されます。モードビットまたは NFSv4 ACL です。
- ACL 出力は、NFSv4 セキュリティが適用されたファイルとフォルダについてのみ表示されます。

このフィールドは、モードビットのアクセス権のみ（NFSv4 ACL はなし）が適用されている UNIX セキュリティ形式のファイルおよびディレクトリでは空になります。

- ACL 出力の所有者とグループの出力フィールドは、NFSv4 セキュリティ記述子には該当しません。

これらのフィールドが意味があるのは、NTFS セキュリティ記述子の場合のみです。

- ストレージレベルのアクセス保護セキュリティは、SVMでCIFSサーバが設定されている場合、UNIXのボリュームまたはqtreeでサポートされるため、で指定したボリュームまたはqtreeに適用されるストレージレベルのアクセス保護セキュリティに関する情報が出力に含まれることがあります -path パラメータ

ステップ

1. ファイルとディレクトリのセキュリティ設定を必要な詳細レベルで表示します。

表示する情報	入力するコマンド
要約形式で表示されます	<pre>vserver security file-directory show -vserver vserver_name -path path</pre>
詳細が表示されます	<pre>vserver security file-directory show -vserver vserver_name -path path -expand-mask true</pre>

例

次の例は、パスに関するセキュリティ情報を表示します /home SVM vs1：

```
cluster1::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path /home
```

```

Vserver: vs1
File Path: /home
File Inode Number: 9590
Security Style: unix
Effective Style: unix
DOS Attributes: 10
DOS Attributes in Text: ----D---
Expanded Dos Attributes: -
    Unix User Id: 0
    Unix Group Id: 1
    Unix Mode Bits: 700
Unix Mode Bits in Text: rwx-----
ACLs: -
```

次の例は、パスに関するセキュリティ情報を表示します /home マスクを展開した形式のSVM vs1 :

```
cluster1::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path /home
-expand-mask true
```

```

Vserver: vs1
File Path: /home
File Inode Number: 9590
Security Style: unix
Effective Style: unix
DOS Attributes: 10
DOS Attributes in Text: ----D---
Expanded Dos Attributes: 0x10
    ...0 .... = Offline
    .... ..0. .... = Sparse
    .... .... 0... .... = Normal
    .... .... ..0. .... = Archive
    .... .... ...1 .... = Directory
    .... .... .... .0.. = System
    .... .... .... ..0. = Hidden
    .... .... .... ...0 = Read Only
    Unix User Id: 0
    Unix Group Id: 1
    Unix Mode Bits: 700
Unix Mode Bits in Text: rwx-----
ACLs: -
```

CLI を使用して、FlexVol の NTFS 監査ポリシーに関する情報を表示する

セキュリティ形式と有効なセキュリティ形式、適用されているアクセス権、システムアクセス制御リストに関する情報など、FlexVol の NTFS 監査ポリシーに関する情報を表示できます。この結果を使用して、セキュリティ設定の検証や、監査に関する問題のトラブルシューティングを行うことができます。

このタスクについて

Storage Virtual Machine（SVM）の名前、および監査情報を表示するファイルまたはフォルダのパスを指定する必要があります。出力は要約形式または詳細なリストで表示できます。

- NTFS セキュリティ形式のボリュームおよび qtree では、NTFS のシステムアクセス制御リスト（SACL）のみが監査ポリシーに使用されます。
- NTFS 対応のセキュリティが有効な mixed セキュリティ形式のボリューム内のファイルおよびフォルダには、NTFS 監査ポリシーを適用できます。

mixed セキュリティ形式のボリュームおよび qtree には、UNIX ファイル権限、モードビットまたは NFSv4 ACL、および NTFS ファイル権限を使用する一部のファイルおよびディレクトリを含めることができます。

- mixed セキュリティ形式のボリュームの最上位では、UNIX または NTFS 対応のセキュリティを有効にすることができ、そこには NTFS SACL が格納されている場合も、格納されていない場合もあります。
- ストレージレベルのアクセス保護セキュリティは、ボリュームのルートまたは qtree の有効なセキュリティ形式が UNIX であっても、mixed セキュリティ形式のボリュームまたは qtree で設定できるため、ストレージレベルのアクセス保護が設定されているボリュームまたは qtree パスの出力には、通常のファイルおよびフォルダの NFSv4 SACL とストレージレベルのアクセス保護の NTFS SACL の両方が表示される場合があります。
- コマンドで入力したパスが、NTFS 対応のセキュリティを使用するデータへのパスである場合、そのファイルまたはディレクトリパスにダイナミックアクセス制御が設定されていれば、ダイナミックアクセス制御 ACE に関する情報も出力に表示されます。
- NTFS 対応のセキュリティが有効なファイルおよびフォルダに関するセキュリティ情報を表示する場合、UNIX 関連の出力フィールドには表示専用の UNIX ファイル権限情報が格納されます。

ファイルアクセス権の決定時、NTFS セキュリティ形式のファイルおよびフォルダでは、NTFS ファイルアクセス権と Windows ユーザおよびグループのみが使用されます。

- ACL 出力は、NTFS または NFSv4 セキュリティが適用されたファイルとフォルダについてのみ表示されます。

このフィールドは、モードビットのアクセス権のみ（NFSv4 ACL はなし）が適用されている UNIX セキュリティ形式のファイルおよびフォルダでは空になります。

- ACL 出力の所有者とグループの出力フィールドは、NTFS セキュリティ記述子の場合にのみ適用されません。

ステップ

1. ファイルおよびディレクトリ監査ポリシー設定を必要な詳細レベルで表示します。

表示する情報	入力するコマンド
要約形式で表示されます	<code>vserver security file-directory show -vserver vserver_name -path path</code>
詳細なリストとして	<code>vserver security file-directory show -vserver vserver_name -path path -expand-mask true</code>

例

次の例は、パスの監査ポリシーの情報を表示します /corp (SVM vs1)。パスで NTFS 対応のセキュリティが有効になっています。NTFS セキュリティ記述子には、SUCCESS および SUCCESS/FAIL SACL エントリの両方が含まれています。

```
cluster::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path /corp
      Vserver: vs1
      File Path: /corp
      File Inode Number: 357
      Security Style: ntfs
      Effective Style: ntfs
      DOS Attributes: 10
      DOS Attributes in Text: ----D---
      Expanded Dos Attributes: -
      Unix User Id: 0
      Unix Group Id: 0
      Unix Mode Bits: 777
      Unix Mode Bits in Text: rwxrwxrwx
      ACLs: NTFS Security Descriptor
      Control:0x8014
      Owner:DOMAIN\Administrator
      Group:BUILTIN\Administrators
      SACL - ACEs
      ALL-DOMAIN\Administrator-0x100081-OI|CI|SA|FA
      SUCCESSFUL-DOMAIN\user1-0x100116-OI|CI|SA
      DACL - ACEs
      ALLOW-BUILTIN\Administrators-0x1f01ff-OI|CI
      ALLOW-BUILTIN\Users-0x1f01ff-OI|CI
      ALLOW-CREATOR OWNER-0x1f01ff-OI|CI
      ALLOW-NT AUTHORITY\SYSTEM-0x1f01ff-OI|CI
```

次の例は、パスの監査ポリシーの情報を表示します /datavol1 (SVM vs1)。このパスには、標準ファイルおよびフォルダの SACL とストレージレベルのアクセス保護の SACL の両方が格納されています。

```

cluster::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path
/datavol1

      Vserver: vs1
      File Path: /datavol1
      File Inode Number: 77
      Security Style: ntfs
      Effective Style: ntfs
      DOS Attributes: 10
      DOS Attributes in Text: ----D---
      Expanded Dos Attributes: -
      Unix User Id: 0
      Unix Group Id: 0
      Unix Mode Bits: 777
      Unix Mode Bits in Text: rwxrwxrwx
      ACLs: NTFS Security Descriptor
            Control:0xaa14
            Owner: BUILTIN\Administrators
            Group: BUILTIN\Administrators
            SACL - ACEs
                  AUDIT-EXAMPLE\marketing-0xf01ff-OI|CI|FA
            DACL - ACEs
                  ALLOW-EXAMPLE\Domain Admins-0x1f01ff-OI|CI
                  ALLOW-EXAMPLE\marketing-0x1200a9-OI|CI

      Storage-Level Access Guard security
      SACL (Applies to Directories):
            AUDIT-EXAMPLE\Domain Users-0x120089-FA
            AUDIT-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff-SA
      DACL (Applies to Directories):
            ALLOW-EXAMPLE\Domain Users-0x120089
            ALLOW-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff
            ALLOW-NT AUTHORITY\SYSTEM-0x1f01ff
      SACL (Applies to Files):
            AUDIT-EXAMPLE\Domain Users-0x120089-FA
            AUDIT-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff-SA
      DACL (Applies to Files):
            ALLOW-EXAMPLE\Domain Users-0x120089
            ALLOW-EXAMPLE\engineering-0x1f01ff
            ALLOW-NT AUTHORITY\SYSTEM-0x1f01ff

```

CLI を使用して、FlexVol の NFSv4 監査ポリシーに関する情報を表示する

セキュリティ形式と有効なセキュリティ形式、適用されている権限、システムアクセス制御リスト（SACL）に関する情報など、ONTAP CLI を使用して FlexVol の NFSv4 監査ポリシーに関する情報を表示できます。この結果を使用して、セキュリティ設定の検証や、監査に関する問題のトラブルシューティングを行うことができます。

このタスクについて

Storage Virtual Machine（SVM）の名前、および監査情報を表示するファイルまたはディレクトリのパスを入力する必要があります。出力は要約形式または詳細なリストで表示できます。

- UNIX セキュリティ形式のボリュームおよび qtree では、監査ポリシーに NFSv4 SACL のみが使用されます。
- mixed セキュリティ形式のボリュームにある UNIX セキュリティ形式のファイルとディレクトリには、NFSv4 監査ポリシーを適用できます。

mixed セキュリティ形式のボリュームおよび qtree には、UNIX ファイル権限、モードビットまたは NFSv4 ACL、および NTFS ファイル権限を使用する一部のファイルおよびディレクトリを含めることができます。

- mixed セキュリティ形式のボリュームの最上位では、UNIX または NTFS 対応のセキュリティを有効にすることができ、NFSv4 SACL が含まれる場合と含まれない場合があります。
- ACL 出力は、NTFS または NFSv4 セキュリティが適用されたファイルとフォルダについてのみ表示されます。

このフィールドは、モードビットのアクセス権のみ（NFSv4 ACL はなし）が適用されている UNIX セキュリティ形式のファイルおよびフォルダでは空になります。

- ACL 出力の所有者とグループの出力フィールドは、NTFS セキュリティ記述子の場合にのみ適用されます。
- ストレージレベルのアクセス保護セキュリティは、ボリュームのルートまたは qtree の有効なセキュリティ形式が UNIX であっても、mixed セキュリティ形式のボリュームまたは qtree で設定できるため、ストレージレベルのアクセス保護が設定されているボリュームまたは qtree パスの出力には、標準の NFSv4 ファイルおよびディレクトリの SACL とストレージレベルのアクセス保護の NTFS SACL の両方が表示される場合があります。
- ストレージレベルのアクセス保護セキュリティは、SVMでCIFSサーバが設定されている場合、UNIXのボリュームまたはqtreeでサポートされるため、で指定したボリュームまたはqtreeに適用されるストレージレベルのアクセス保護セキュリティに関する情報が出力に含まれることがあります -path パラメータ

手順

- ファイルとディレクトリのセキュリティ設定を必要な詳細レベルで表示します。

表示する情報	入力するコマンド
要約形式で表示されます	<pre>vserver security file-directory show -vserver vserver_name -path path</pre>

表示する情報	入力するコマンド
詳細が表示されます	<pre>vserver security file-directory show -vserver vserver_name -path path -expand-mask true</pre>

例

次の例は、パスに関するセキュリティ情報を表示します /lab (SVM vs1)。この UNIX セキュリティ形式のパスには NFSv4 SACL が設定されています。

```
cluster::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path /lab

      Vserver: vs1
      File Path: /lab
File Inode Number: 288
      Security Style: unix
      Effective Style: unix
      DOS Attributes: 11
DOS Attributes in Text: ----D--R
Expanded Dos Attributes: -
      Unix User Id: 0
      Unix Group Id: 0
      Unix Mode Bits: 0
Unix Mode Bits in Text: -----
      ACLs: NFSV4 Security Descriptor
            Control:0x8014
            SACL - ACEs
                  SUCCESSFUL-S-1-520-0-0xf01ff-SA
                  FAILED-S-1-520-0-0xf01ff-FA
            DACL - ACEs
                  ALLOW-S-1-520-1-0xf01ff
```

ファイルセキュリティと監査ポリシーに関する情報を表示する方法

ワイルドカード文字 (*) を使用すると、特定のパスまたはルートボリュームの下にあるすべてのファイルおよびディレクトリのファイルセキュリティと監査ポリシーに関する情報を表示できます。

ワイルドカード文字 (*) は、すべてのファイルおよびディレクトリの情報を表示する特定のディレクトリパスの最後のサブコンポーネントとして使用できます。「*」という名前の特定のファイルまたはディレクトリの情報を表示する場合は、二重引用符 (「」) で完全なパスを指定する必要があります。

例

次のコマンドにワイルドカード文字を指定すると、パスの下にあるすべてのファイルとディレクトリに関する情報が表示されます /1/ SVM vs1:

```
cluster::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path /1/*
```

```

    Vserver: vs1
    File Path: /1/1
    Security Style: mixed
    Effective Style: ntfs
    DOS Attributes: 10
    DOS Attributes in Text: ----D---
    Expanded Dos Attributes: -
    Unix User Id: 0
    Unix Group Id: 0
    Unix Mode Bits: 777
    Unix Mode Bits in Text: rwxrwxrwx
    ACLs: NTFS Security Descriptor
          Control:0x8514
          Owner:BUILTIN\Administrators
          Group:BUILTIN\Administrators
          DACL - ACEs
          ALLOW-Everyone-0x1f01ff-OI|CI (Inherited)

    Vserver: vs1
    File Path: /1/1/abc
    Security Style: mixed
    Effective Style: ntfs
    DOS Attributes: 10
    DOS Attributes in Text: ----D---
    Expanded Dos Attributes: -
    Unix User Id: 0
    Unix Group Id: 0
    Unix Mode Bits: 777
    Unix Mode Bits in Text: rwxrwxrwx
    ACLs: NTFS Security Descriptor
          Control:0x8404
          Owner:BUILTIN\Administrators
          Group:BUILTIN\Administrators
          DACL - ACEs
          ALLOW-Everyone-0x1f01ff-OI|CI (Inherited)
```

次のコマンドは、パスの下に「*」という名前のファイルの情報を表示します /vol1/a SVM vs1の。パスは二重引用符 ("") で囲まれます。

```
cluster::> vserver security file-directory show -vserver vs1 -path  
"/vol1/a/*"
```

```
      Vserver: vs1  
      File Path: "/vol1/a/*"  
      Security Style: mixed  
      Effective Style: unix  
      DOS Attributes: 10  
      DOS Attributes in Text: ----D---  
Expanded Dos Attributes: -  
      Unix User Id: 1002  
      Unix Group Id: 65533  
      Unix Mode Bits: 755  
      Unix Mode Bits in Text: rwxr-xr-x  
      ACLs: NFSV4 Security Descriptor  
            Control:0x8014  
            SACL - ACEs  
                  AUDIT-EVERYONE@-0x1f01bf-FI|DI|SA|FA  
            DACL - ACEs  
                  ALLOW-EVERYONE@-0x1f00a9-FI|DI  
                  ALLOW-OWNER@-0x1f01ff-FI|DI  
                  ALLOW-GROUP@-0x1200a9-IG
```

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。